

■ドイツ：E.ON、水素ガスによる“Power-to-gas”の実証試験を実施

ドイツのエネルギー大手 E.ON は 2013 年 6 月 13 日、余剰電力を水素ガスに転換してガス導管に送り込み、ガス導管から水素ガスを供給する「Power to Gas」実証試験を初めて実施したと発表した。この施設はブランデンブルク州ファルケンハーゲンに立地しており、今回の試験では 1 時間で約 160 m³の水素ガスを生産した。同社は今回の実証試験で、風力発電所から電力を受け取り、ガス導管で水素ガスを供給するまでの一連の工程の試験を無事に終了した。同施設は今年 8 月末から稼働を開始する予定で、1 時間あたり 360 m³の水素ガスを供給することになる。同施設は隣接するウインドファームの余剰電力を活用することを目的としており、生成された水素ガスは発電燃料としても利用できるため、今後の利用拡大に期待が寄せられている。